

調査先アンケート集計結果

希望調査先名称	理 由
<p>仙台工業高校 模型・動画部</p>	<p>高校生の視点で仙台の今昔（歴史や文化、民俗など）を編集、調査や取材を行い、その成果を動画として記録している。全国自作視聴覚教材コンクールにも入賞する経験を今後の文化継承に活かさないか、ヒントを得られないか（若者による文化の継承）。</p> <p>制作物の一部はメディアテークの教材映像アーカイブでも視聴できる（下記リンク参考）</p> <p>また、下記リンクによれば、児童館や社会教育施設（地底の森ミュージアム）で工作教室を行っており、地域における子育ての参考にもなると感じた。教えることによって子どもたちの自覚や責任感を育んだり、（大人ではなく）お兄ちゃんお姉ちゃんの行動を真似することによって子どもたちが地域に入るきっかけになったりするのではないかと期待する。</p> <p>https://www.sendai-c.ed.jp/~sendaith/bukatudou/2021_bila/2021mokei-leaf.pdf</p> <p>https://www.sendai-c.ed.jp/~sendaith/bukatudou/mokei/mokei.html</p>
<p>ハネコ・はねこ</p>	<p>すずめ踊りの発展に大きく貢献したといわれる八幡地区で活動する祭連（団体）。すずめ踊りの原型といわれるハネコ踊りを伝承している。また、すずめ踊りを地域の誇りと位置づけ、小学校で（つまり子どもたちに）踊りの指導を通して、踊りを伝承すると同時に地元愛を育もうとしている。個人的には時代に合わせ形を変えても、残していくことが伝承なのかも聞いてみたい。</p>
<p>一般社団法人 茶道 裏千家淡交会 宮城 支部</p>	<p>外国人には、日本を象徴する文化として「茶道」は認知されている。しかしながら、国内の茶道人口は減少傾向に転じている。そこで、三千家の一つである裏千家は許状の名称変更、点前・所作の変更（新式）を行う等の対策を通じて標準化をはかり、門弟獲得に努めている。上記の改革による、1. 成果と課題、2. 宮城県内の裏千家茶道人口の年次推移等についてのヒアリングを実施することで、「正統文化」としての茶道の現状を把握し、茶道文化の地域定着および継承維持問題について展望する。当該文化に親しむことは、流派の作法を知るだけでなく、禅の精神、建物、歴史、工芸・織物の知識、等を通じて日本文化を総合的に理解することに繋がり、市民の情操教育に寄与するものと考えられる。また、市民が国際交流に臨む際、地域間交流を推進することが期待される。地域振興の観点からも、伝統文化の振興をはかることは、交流人口の増加に繋がり、経済効果が期待できる。</p>
<p>榴ヶ岡小学校の何らかの団体（例：榴ヶ岡天満宮の氏子会）</p>	<p>仙台市の東の玄関口で、昔ながらのお祭りなど担い手育成（世代交代）をどのように行っているのか、転勤してきた親子を地域でどのように支えたり地域行事に巻き込んでいるのか、気になる。市の中心部にありながら地域の団結力が強い、という話を聞くが秘訣や特徴（特長）があるのではないかと。（団体名は一例）</p>

※いただいたご意見

文化の伝承については、津波被災した地域の民俗も含まれるのか確認したい。見た目は全く別の町になってしまうことを考えると、今回の文化継承の危機に近い気がする。

具体的な候補はありませんが、社会教育施設が新しい取り組みを始める中で従来とは異なる専門性を持った人材を採用・育成している事例で、従来型の人材と新しい人材が共存している事例を想定していました。取り組みのイメージとしては多言語対応、地域連携対応、社会教育施設の子育て世代による利用支援、遠隔サービス推進、学社連携（教員の社会教育施設派遣など）、複合施設における共同事業推進、などです。

特定の団体ということではないが、伝統文化や地域文化を次世代に継承していくに関わっている・尽力している団体を調査したい。